令和８年９月２５日

指導部だより（あったかハート推進週間の取組）

富山大学教育学部附属小学校
校　　長　　草野　　剛
生徒指導主事　神田　靖大

【温かな心の育成】

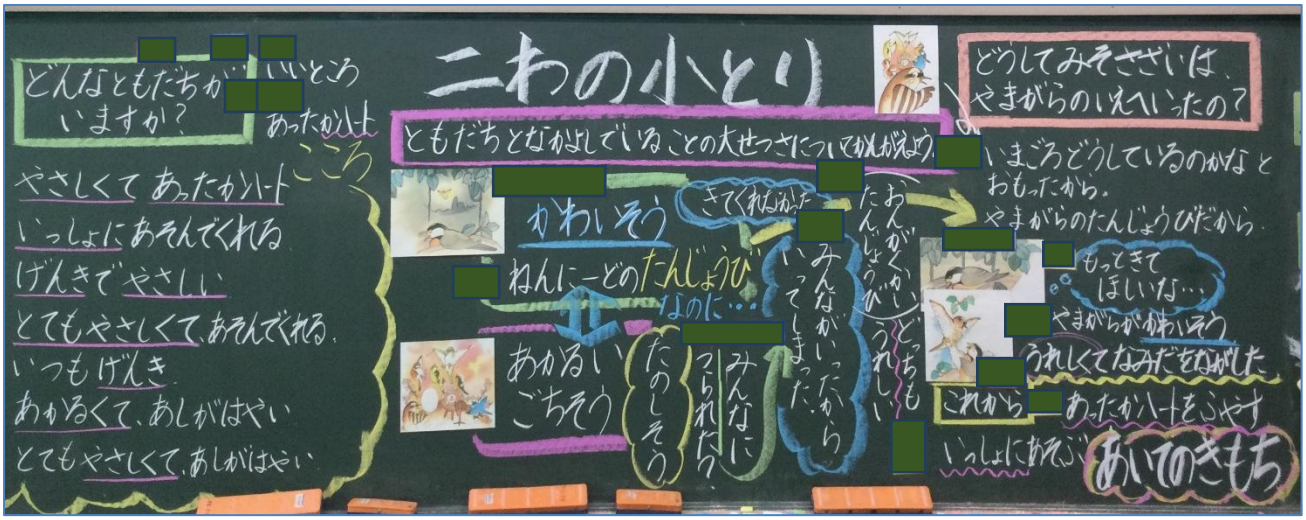
附属小学校では、子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。９月は、以下の内容で行いました。

月	期　　間	内　　容
９月	９/７（月）～１１（金）	道徳科の授業　内容項目：友情、信頼（低学年） 相互理解、寛容（中・高学年）

【1年生の授業】

１年生では、「二わの小とり」を読んで、友達となかよくすることの大切さについて学習しました。

教材文では、やまがらの誕生日会に招待されていた小鳥たちが、それより楽しそうなうぐいすの家に行ってしまいます。小鳥の「みそさざい」は一人で待っている「やまがら」のことが気になり、みんなと別れて誕生日のお祝いの気持ちを伝えに行きます。そのときの「みそさざい」の気持ちを考えました。



授業後、１年生では、以下のような感想がありました。

・友達と仲良しでいるために、相手の気持ちを考えて一緒に遊びたいです。
・友達と仲良くするために、自分勝手なことをしないようにしたいです。困っている友達を放っておかないようにしたいです。
・友達には元気でいてほしいから、困っている友達がいたら行って優しくしてあげたいです。

【各学年で行った授業後の子供の感想】

２年生：「きれいな羽」を読んで、自分が頑張ったら、みんなも手伝ってくれることがあると分かりました。今度からは、友達が頑張っているときや困っているときは、手伝いたいと思います。
３年生：「みんなの学級会」を読んで、これまでは、自分の考えと違うと納得できないことが多かったけど、この学習を終えて、相手と考えが違っても、相手のよいところを取り入れるなど、お互いが納得できるよう工夫してみようと思いました。
４年生：「へらぶなつり」を読んで、許すことの大切さを学びました。友達の失敗を許さないでいると、ずっとそのことが心に残って仲直りもできなくなると思うので、これからは許すことの意味も考えていきたいです。
５年生：「すれちがい」を読んで、はじめは自分の立場でしか考えていなかったけど、相手の立場に立って考えると、一方的に相手が悪いと決めつけることはできないと思いました。
６年生：「ブランコ乗りとピエロ」を読んで、意見が対立したときは、すぐにイライラしたり、けんかをしたりするのではなく、どうしてこうなったかを考えていきたいと思いました。そして、相手の立場に立って考えてみたいです。

どの学年からも、「相手の立場や気持ちを理解する大切さ」について考えを深めた様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。